

さいたま緑の森博物館で活動する

「みどり森ボランティア会」

のメンバー募集！！



みどり森ボランティア会とは…

さいたま緑の森博物館（通称：みどり森）の魅力アップのために、雑木林の手入れや、イベント運営の補助などの活動を行っています。

現在、10代から70代まで、約35名のボランティアが活動を行っていますが、今後もより多くの方にみどり森に関わっていただきみどり森を盛り上げていきたいと考え、今年もボランティアに参加していただけるメンバーを募集いたします。

みどり森ボランティア会の活動の内容

月1～2回で活動があり第3日曜日は固定で定例の活動日になっています。

博物館と連携しながら以下の活動を行っています。

- ・博物館の展示である雑木林の管理（下草刈り・更新伐採・落ち葉掃き等）
- ・園路の巡回（自然情報の収集、危険箇所の把握、台風・雪害の影響巡回）
- ・各種研修（樹木・草花・野鳥等、外部講師による専門的な研修など）
- ・園路の整備（階段の補修、ロープ柵の補修）
- ・イベント運営のサポート（緑の森フェスタや食育・里山体験教室など）
- ・動植物の保護、調査

★みどり森ボランティア会に加わりたい方は★

まず、さいたま緑の森博物館や狭山丘陵について知って頂くために

【ボランティア養成講座（全3回）】の受講をお願いしています。

講座終了後に正式にボランティア登録できる仕組みとなっています。

講座の内容は、狭山丘陵の地形的な成り立ちや歴史、緑の森博物館の設置概要、里山の管理方法などについて座学とフィールドワーク形式で行う予定です。

★対象：みどり森の里山に魅力を感じ、伝えていきたい中学生以上の方
（中学生は保護者の方とご参加ください）

★募集期間：12月24日（火）から受付開始

★申込方法：電話またはHPのイベント申し込みフォームから申し込み

★参加費：講座3回分の保険代として300円

※今後、講習終了後にボランティア活動開始前に

ボランティア保険（実費自己負担¥350）に加入していただく予定です。

★持ち物：お弁当、水筒、筆記用具、タオル、軍手

★服装：歩きやすい靴、帽子、長袖長ズボン、防寒着



※裏面に活動の様子や会員の声を掲載しています



活動地では

冬は伐採、春からは植生調査と下草刈りなどを行っています。
伐採後は今まで見られなかった植物が生えて来るので驚きます。

管理活動の成果が目に見えて分かりとてもやりがいがあります。
自然と人が関わり合って維持されてきた雑木林の景色はとても気持ちが良いものです。



みどり森ボランティア会メンバーの声

どのようなメンバーが活動しているの？ちょっとご紹介します。

さまざまな人が
楽しく活動しているよ♪

1期生 Mさん

【参加した思い】特に明確な思いはなかった。友人から誘われ狭山丘陵の保全のボランティアという事で参加しようと思った。

【参加しての感想】10～70歳代までと広い年齢層が参加しているのでその分非常にユニークで楽しみが多い。

自分の居場所が出来たのはよかった。

【新しいメンバーに向けて】ボランティア活動なので無理なく活動すればよいと思います。



1期生 Iさん

【参加した思い】里山の季節の変化を楽しみたいと思いボランティア会に入会しました

【参加しての感想】ボランティア活動4年目です。里山の四季を体感しています。

【新しいメンバーに向けて】あなたも、里山の自然を体感してみませんか？

春：多彩なスマイル、夏：雑木林を渡る風、秋：ドングリの落ちる音、冬：コゲラの採餌
大人から子供まで楽しめます。

3期生 Mさん

【参加した思い】植物、昆虫、鳥と自然観察、散歩が好きで、家からも近い緑の森博物館を以前から歩いていましたが、どうせなら、この森により深く関わりたいと思い、ボランティアに参加しました。

【参加しての感想】若い人から高齢者までメンバーはバラエティに富んでいます。活動も自分の都合に合わせて参加でき、気楽で自由な居心地のいいボランティア会だと思います。

【新しいメンバーに向けて】今年から管理地を設け、里山の管理活動も始まります。

気楽に参加してみませんか！